

報

会
あがた

松本県ヶ丘高等学校東京同窓会

発行所
松本県ヶ丘高等学校
東京同窓会
〒180-0004 東京都武蔵
野市吉祥寺本町1-10-15
ポストインネットワーク内
TEL 0422-23-7620
発行人：山岸 光臣



東京同窓会の

志すところ

東京同窓会会長 山岸光臣(高3回卒)

本年2002年の松本県ヶ丘高等学校の東京同窓会の総会(第35回)が高校24期生(実行委員長仁科孝章君)により開催されることになり、会長である私は、総会が終わるまで気が気ではない。

某日、秘書役の女性に「そろそろ、6時ですよ。」と促され、書きかけの準備書面を机上に残し、翌日の訴訟記録をカバンに詰め、わが法律事務所を飛び出し、6時30分の幹事会場に飛びこむ。既に多くの幹事諸氏が姿を見ているが、受付近くでは誰それ君は未だ仕事で遅参するなどの連絡がとび交う。幹事諸氏は皆それぞれに仕事を終える間もなく、夕食抜きで、息せき切ってかけつける。8割がたの顔が出揃った段階で、順次着席する。ついで、幹事長や各委

員会から、当日付議すべき事項の説明書が何枚か配られ、同窓会活動の最重要課題である同窓会総会の準備に着手する毎年2月以降は実行委員会から書面で準備状況の報告を受け、その内容を逐一検討する。諸先輩のアドヴァイスを得ながら総会については財政的な面を中心に何回かの幹事会を重ねて検討される。ことは同窓会の存否にかかわる経済的な問題を含むから、幹事諸氏の態度は真剣そのもの。

ただ、時折幹事達が暗澹たる気持ちにさせられるのは、毎年或いは2、3年毎に同じ事が繰り返り返す問題とされ、幹事諸氏を悩まし、苦しめることだ。

それでも、我等が幹事諸氏は会合の都度夜遅くまで、時には日曜、休日を返上して幹事会や

同窓会関連の催事に参加してくれる。真に有り難きことで、県下の高校のなかでも、最も活動的な在京同窓会の一つと自負する。

そこで、私は我が同窓会の幹事諸氏が、何ゆえ同窓会活動にそのようにエネルギーを注ぎ込めるのかを、常に思う。その所以は、我々誰もが松本県ヶ丘高等学校の卒業生であるからには、我々の存在を自らの力で意

拓げよう同窓の輪を

第35回東京同窓会実行委員長 仁科 孝章(高24回卒)



高校生活の三年間は、人生の中でほんの通過点であったかもしれない。義務教育を終え、自ら選んだ道を歩み出した第一歩。各地区より集まってきた全く新しい人達との出会い、友情、勉学、クラブ活動等、悩みも抱きながら、青春を燃焼させた三年間でもあった。そして、それをステッブとし、次の新たな目標に向かって飛び出して行ったのだ。

義あるもの、価値あるものにしたいの願ひ、それは取も直さず、我等が母校松本県ヶ丘高等学校をより名誉あるもの、誇りある高等学校にしたいの熱い愛校心である。吾が松本県ヶ丘高等学校の同窓生同志よ、母校松本県ヶ丘高等学校卒業生としてこの高い志を忘れずに行こうではないか。

それから、遅かれ早かれ社会に出、家族のため、社会のため、そして自らの目標達成のために、後ろを振り返りもせず、前だけ見てひたすら走り続けていた。そして、卒業から三十年が経った今、会社や家族中心のごく狭い範囲での行動と、限られた人達の間でしか交流をしていない事に気がついた。

県陵の卒業生は、いろいろな分野で活躍をしている。普通なら決して接点はないと思われる業種の人もある。しかし、県陵の卒業生と言うだけで、あたかも昔から知り合いだったかのよ

うに、うち解けることが出来るのは不思議だ。一つには県陵生という同一認識、同一気質が根底に流れているためなのか。また、県陵生はおつとりしていて闘争心に欠けるとよく言われたが、それは見方を変えれば、回りに気を配り、他人を思いやる気持ちの表われであり、誰でも広い心で受け入れられる、人間としての度量の大きさと、心の優しさがそうさせるのであろう。

今回私達二四期生が幹事を勤める第三十五回東京同窓会は、「集まれ県陵生―拓げよう同窓生の輪―」をテーマとし、同じ仲間である県陵生を集まろう。そして、ふるさと松本のことや、高校時代を思い出し、一時でもあの頃の気持ちに立ち返ってみよう。そして、同窓生のみならず、先輩後輩を越えたより多くの人達との交流を通し、今後の人生が少しでも豊かになるよう期待している。そして県陵を卒業して良かったと思えると共に、こんなすばらしい先輩達が卒業した県陵に、必ずや誇りを持ってもらえと確信している。

最後にこの東京同窓会が、今後ともより多くの人達の参加と、より一層発展することを祈念致します。



蛙の声



東京同窓会名誉会長
樋口 和博
(中1回卒)

戦後間もなく松本の裁判所に転勤してきた私は、久しぶりに母校松本第二中学校(現県ヶ丘高校)に赴き、先ず故小松武平先生の記念碑を拝して強い感銘を受け、更にその周辺をはじめとする環境の変化に大きな驚きを感じました。爾来約十年間同校同窓会の仕事などにも関係してきたが、その間に新憲法下に於ける裁判所の実状などについて多くの人達の理解を得るため

田舎の片隅で小さい穴から外を見て、これが自分の世界だと考えたたりしている一人の裁判官である。せまい穴から顔を出して見た日本は敗戦という強いショックを受けて上を下への大騒ぎであった。私はこの世相をうす暗い井戸の中で静かに考えながらこの随筆を書いた。

日本人達の中には私と同じように、外国からは決して侵されない、神風の吹く国だと考え

にと考え「蛙目」という随筆集(百七十二頁)を書きました。この度同窓会から何か書くようにと言われて、既に五十四年も前に松本で出版したこの著書の序文の一部だけでも書いてその責を果たしたいと思います。

「蛙目」の序文(抜粋)

「私は井戸の中の蛙のように、

下の名において「裁判が出来たであろうし、また化石であると罵倒した国民がその化石である裁判官から裁判を受けて平気で過ごして来たことに何か割り切れないものがあった。だが、裁判所が国民自らの裁判所になった今日では、最早裁判官は化石であってはならないし、また国民も裁判官を化石たらしめてはならない。裁判官は生々しい社会の動きに対し深い洞察を持たなくてはならないし、国民もまた裁判所を正しく理解し自分たちの裁判所であることの誇りを持つて立派に育てていかななくてはならない。

この著書が何らかの意味で裁判所を正しく理解する材料ともなれば望外の仕合せである。」

この様な随筆が出てから五十年を経て、私の生活のあらゆる分野での大きな変化は今昔の感に堪えないものがあります。司法の面でも官僚による裁判に国民が参加する「裁判員制度」「陪審員制度の復活」等々裁判に対する国民の関心がいよいよ強くなり、これから先いつの日にか参会の皆さんも裁判員になったり、陪審員になって、自分も裁判をする立場に置かれることがあるだろうかと思われる

ようになったのです。さて、県ヶ丘高校の東京同窓会は、かねてから他校の羨望のまとなつていっているほど、素晴らしいものがあります。この度三十五回総会に集まる同窓の皆さんが、恩師などを囲み打ちそろうて楽しい団らんをのひとときを持たれると同時に、この機会を通じてお互いが持っている良きものを分かち合う事、即ちギブ・アンドテークの実をあげて欲しい。そして帰途につく時「ああ、良い会合だった。私にはこんな素晴らしいことがあった。来年もまた出席して何か自分に役立つこと一つでも身につけよう」と考えるような集まりであつて欲しいものです。このような集まりの中で、どんな小さいことでもその気になれば、何か自分にも役立つものが見つかる筈です。

皆さんと母校を同じくする旧制松本第二中学校の第一回卒で九二才の、いささか年老いた私が参会の若い皆さんに大きい期待を寄せるとともにお祝いを申し上げたく思います。

降る雪や
明治は遠くなりけり
中村草田男

山岸光臣法律事務所

弁護士 山岸 光臣
(高3回卒)

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-14
第2東ビル8F 801号室

☎03-3255-2700 ☎03-3255-2709

弁護士

樋口 和博

(中1回卒)

事務所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-5
市ヶ谷法曹ビル203号室
☎03-3230-4005

自宅 〒157-0067 東京都世田谷区喜多見町5-21-15
☎03-3416-2904



新世紀は 教育母校をもりたてよう

松本県ヶ丘高校同窓会会長

小林 清完(中15回卒)

新緑の色を増す季節、樋口和博先生を始め東京同窓会の皆さん常に母校・同窓会に厚いご支援ご指導を下さり、深謝します。この3月第54回卒業生368人を会員に迎えました。あたたかい御指導をお願いいたします。昨年11月には東京同窓会が主役で「ふるさと交流同窓会」を立派に開催され広域的友情を深められご苦労様でありました。大変たのしく有意義でありました。

「母校八十年祝いと二年」

母校開校八十年祝の年があと一年となりました。会員の皆様、特に役員の皆様の献身的な御努力で順次準備が進んでおります。長野県御当局の御高配で体育館の改築は計画通り、平成14年度内に完成の予定であります。おかげ様に平成15年10月11日(土)には新体育館で御祝の式が出来ます。御多忙の中今から日程調整のうえ多くの皆様の御参加をお願いします。準備で一番苦心しておりますのは、募金であります。それでも皆様の御蔭でこの3月には8千万円を突破出来ました。目標の1億円にあと一歩となりました。経済その他困難を極めておりますが御工夫い

ただきもう一段のご協力をお願いします。全員参加が目標であります。一言かけ合ってください「参加率」を高めて下さるよう伏してお願いします。八十年祝に「感動」と「新しい希望」が生まれますようお願いいたします。

- ①体育館附帯工事等
- ②学習室(仮称)の新築
- ③スポーツ、美術展、音楽祭等 謝恩事業
- ④八十年史の発行
- ⑤育英資金の確保と同窓会の強化等

が今日まで申し上げてきた記念事業であります。本年6月1日の総会で御協議申し上げ促進します。
【松本の近況ほか】
同窓生の有賀正松本市長(高2)が軸で松本は大変よくなっております。昨年11月の新市民会館の着工、本年4月の美術館の開館、伊勢町附近の区画整理、本町、六九町、中町、なわ手通り等様がわかりました。

同窓生の中山英子(高41回)さんがソルトトレックシティのオリンピックのスケルトン競技に出場し活躍しました。更なる精進を願っております。東京同窓会の一層の御発展お祈りします。

朝、松本駅から吐き出された後、旧電車通りを真っ直ぐ県の森公園目指して歩くことが本校生徒を含め、主な通学ルートになっております。私もそれに習ってりましたが、次第に車の少ない道を探しはじめました。その結果、インターロッキングされた飲屋街、高砂通り(人形町、源地の井戸、柔剣道場の脇、そして蚕糸公園へ、そんな事を

奇聞街道 県陵

学校長 青山 誠



ある本校OB職員に話したところ、その道は県陵街道と呼ばれていたとのこと。「そうか、ここにもあらぶれ達の朝夕の顔があったのか」と思うと尚更足が向くようになりました。今では本校、松商、エクセランの生徒達が時折通る程度で三校街道とも言った方が良さそうですが、駅前近くの整備されたビル街か

ら次第に細田書店、更には崩れそうな白壁の土蔵を見ておりますと、数十年の時の流れを風景が物語ってくれます。

朝、必ず足を止めるところがあります。小公園風に整備された源地の井戸です。実に滾々わき出ております。昔ここで喉を潤したOB諸賢も多いのではと思いつつ、私も杓から甘露なる水を頂いております。ところがこの井戸の名称であります、「源智の井戸」となっております。滾々と知恵がわき出る井戸ともなれば捨ておけません。

この水を飲めば知恵が付くかどうかは分かりませんがつくと断じ、是非本校生徒たちに飲ませたいのであります。この先行き不透明な二一世紀に生きる生徒たちにこの知恵がどんな意味を持つのかとの声があるうとも、飲ませたいのであります。「教育」とは「強制」である。そして教師は時に易者でもある。特に思春期における教育はそういうものであると信じるからであります。

この「源智の井戸」は今でも時を越えて、滾々と知恵の水を現世と未来に向けて湧出させております。創立八〇周年多くの方々がご来校される折、是非この県陵街道を通っていただければと念じております。

国際ラ・テ製作株式会社

代表取締役 大澤 清重 (中13回卒)

(株)エフエム東京顧問
(財)蓮根文化会館理事長
(学)千葉国際学園理事

〒174-0046 東京都板橋区蓮根2-13-9
☎03-3966-5481



ランドスケープデザイン 有限会社

代表取締役 仁科 孝章 (高24回卒)

〒183-0045 東京都府中市美好町1-26-6
TEL.(042)366-8991
FAX.(042)366-8993
E-mail:n-jin@nifty.com



「艦長」とあだなされて

深澤 整(中18回卒)

私が初めて県陵の校門をくぐったのは、昭和16年(1941年)の四月で、父親の転勤で上田より松本2中の2年生として転入学した時だった。中国大陸の戦線が泥沼化した頃で、軍事教練に重点が置かれ、学校は軍隊のようになっていた。同年の12月8日、太平洋戦争が勃発すると、その傾向は益々強くなり、教練・勤務奉仕・学校林作業・農作業などで、教室での授業はほとんど減少していった。それでも4年生の時までは何とか授業ができたが、5年生になると勤労動員令で、塩尻の昭和電工や名古屋の航空機工場で働き、卒業までほとんど授業はなかった。名古屋での8ヶ月は空襲の恐怖と食糧難での空腹、毎日の残業でへとへとに疲労しながら受験勉強をした。卒業後高等商船へ進学、海軍生徒としてしばらくはが終戦。翌年から東京の大学で生物の勉強をして高校教員の資格を取って故郷の高校に就職した。

第2回目の県陵生活は、昭和44年、当時女子高校だった伊奈弥生ヶ丘高校からの赴任だった。男子生徒の元気に駆け回る姿を見て、母校に帰ってきたと実感した。県



県陵への感謝

平林 尚武(元母校教諭)

7時間の日を1日取り土曜を6時間にしる」などの意見も出て、週休2日の今日では考えられないようなすさまじいものであった。私も母校のために猛烈職員の一員として大張り切りだった。たろんだ生徒を海軍口調で怒鳴ったりしているうちに、ついたニツクネムが「艦長」だった。このあだなは県陵で10年間、その後深志で11年間、大学予備の7年間もずっと呼び続けられ、私の本名より通りがよかった。立派な先生方と素晴らしい後輩のいる母校で勤務できて大変幸いでした。いまでも母校を誇りに思っています。

戦争、敗戦、その後の社会的混乱などの体験、更にはオイルショックや狂乱物価、バブル経済の崩壊によるリストラ、相次ぐデフレ社会など、様々なことに遭遇したといえ、総じて戦後復興や右肩上がりの成長経済社会の中で人生を過ごしてきて、今の政治、経済、社会の混迷と、今後予想される社会不安に胸が痛むことはあつて

も、過去を振り返りながら、幸せだった、楽しかった、としみじみとした思いが胸にこみ上げてくるのです。これまでの人生が、平凡極りなものであっても、それぞれの時代における時々の人との出会いに、私は恵まれておりました。だからこそ、平凡でいられたのだと思っております。無事これ名馬と言わ

せて下さい。教師になって、学校現場を2回離れた通算5年間を除いて、8校に勤めさせていただき、今また9校目での勤めを持っております。失業者増など、きびしい情勢の続く今日のごろですが、ありがたいことだと先ず感謝の気持ちで先に立つのです。今、県陵24回の皆さんからの様々な呼びかけを頂く中で、県陵六年間をなつかしく想いおこし、楽しかった、良かった、充実していた、と改めて思うのです。勤めはじめて2校目で、少し慣れてきたということもあると思います。比較的若かったということもあるかも知れません。よき生徒である皆さんとの係わりが円満であり、多くの先生方からのお支えを頂くことができた、ということにもよるのだと思います。学校というものは、それぞれが願いや目標、役割を持って存立しているのですが、今考えるに県陵は、高等学校として理想的なスタイルを整えていたように思えてなりません。生徒の皆さんの学習活動は教科の学習と特別活動が相まって人間の成長を促していくものでなければならぬと思うのですが、その際一番大切なことは自主自律の機能が、どのくらい働いているかということであり、そのことは、学習との両立を果たしての活発な

**ゴルフ会員権のことでしたら
何でもお気軽に**

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員
株式会社 **ゴルフ・プラザ**
代表取締役 **山本 靖弘**(高13回卒)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-8
☎03-3271-2155 ☎03-3271-2133

建築と五感

花岡 俊 (高7回卒)

クラブ活動の成果に、よく表れていたように思います。(私のいた研究室の隣が部室だった) 風研はじめ多くの文化芸系のクラブが、(私が副顧問をさせていた) サッカー部など多くの運動部が、実に活発に活動をし、且極めて高

或る座談会で作家の司馬遼太郎さんが、私は散歩をし乍ら建築物を見て廻るのが好きで、「ああ、此の建物の主はこんな人柄ではないか」とか「建築中、棟梁とだいぶトラブルがあった」とか、「設計者と外観や色の事で丁々発止があった」とか想像し

乍ら楽しんで居たようですが、そもそも建物とは、最近のコマ一シヤルに「来て見て触って」と吉本興業のお笑いタレントがテレビに出ています、私も長くこの道に携わって居る者として、最低でも「五感」即ち「見て、聞いて、嗅いで、味わって、触って」のこの五つは満足し得ないと、住居としてお施主さん

いレベルを誇っておりました。学校が活気に満ちていました。私自身、学校へ行く毎日が楽しく、充実した日々を送っておりました。今考えて、私の教師としての成長に大きな役割を果たしていたのだ、私の人間としての生き方に貴

には納得して頂けないと思っております。

最近風水とか方位また不動産の位置方向とか、取り上げればきりが有りませんが、「特に」バリーヤの問題、ユニバーザルデザインなど多くの事を頭に入れて乍ら、クライアントと波長を合わせ、温度差を極力近づけ、信頼関係を築いて設計をするのですが、必ずしも完成した建物の評価が良く無い場合も有ります。たちまちにして不幸な事態が起こる事も有る。そんな事も司馬遼太郎さんは一発で見抜けたそうです。

ところで、こんな事って良く有る話ですが、お施主の方が良く勉強されて居ると云おうか、博学と云おうか、とにかく豊かな人生経験と、世界中を旅行し幾度と無く本真もんに接し、「五感」に充分に焼き込んだ方からの設計依頼があると、つい「力」が入り、私には「五感」ところか「六感」、「七感」も持ち合わせ

重なる示唆を与え続けてくれた県陵に、勤め得たことを誇りに思い、同時に懐かしさを込めて深い感謝を申し上げます。一期一会と言いますが、幸いにも出会いのあった多くの生徒の皆さんの、限りないご発展とご多幸を祈念しています。

せておりますとはかりに、「心のときめき」、「胃袋キユンキユン」、「血がウツク」等々、設計図に盛り込んでも、「花岡先生良くやってくれたよ」と云われ乍ら、今日も末々悩み続け、終着駅が無い仕事に従事しております。

近い将来、住宅もコンビニで買える時代になるかも。住宅の設計も自動車のデザイナーで有っても良いし、航空または造船家でも有っても良い訳で、もう垣根の無い時代です。皆さん、異業種の方々と夢の有る設計を実現させたいのですが、如何ですか。

ところで、私も県陵を巣立って、かれこれ50年近く成りますが、青春の1ページを音楽部そしてテニス部で熱き心を燃やしましたが、今も賑々としてその熱き青春は現役で、社会に幾ばくか貢献出来ればと思っております。

家づくりをお考えの方はご相談下さい。

旭化成株式会社

住宅事業部門 住宅特販営業所

所長 樋口 哲 (県陵28回卒)

宅地建物取引主任者

ロングライフ住宅。

ハーベルハウス



〒160-8345 東京都新宿区西新宿1-24-1 エステック情報ビル10F TEL: 03-3344-7791 FAX: 03-3344-7793
E-mail: higuchi.tb@om.asahi-kasei.co.jp 土・日営業(火曜・水曜定休)

DESIGN&ENGINEERING

株式会社 花岡都市建築設計

代表取締役 花岡 俊 (高7回卒)

(社)日本建築家協会会員
〒106-0002 東京都新宿区坂町13番地6 コンフォール四谷301
☎03-5362-5533 ☎03-5362-5534 E-mail hanaoka@mars.plala.or.jp

県陵三一会

昭和31年 高8回卒

会 長 澤田 吉雄
☎0263-32-0187

本部事務局 藤沢 勝利
☎0263-47-4008

東京事務局 濱 一昌
☎042-945-8555

大阪事務局 藤田 泰之
☎0725-56-6234



第3回 「ふるさと交流同窓会」に出席して



松澤 弘子 (高4回卒)

昨年11月17日にふるさと交流同窓会にはじめて参加してきました。今回は中信地区の東京連合会の主催によるもので、今までこのような旅行会が有る事を知りませんでした。実行委員長の果山英毅さんと、私の趣味で月2回の洋裁教室の先生で、長野西高出身の山田和江さんのお誘いもあって参加したのです。

17日はバス3台で、新宿西口を朝七時半出発。この日はお天気に恵まれ車の渋滞もなく、八ヶ岳SAで「元氣甲斐弁当」が配られ、車中でおいしく頂きました。車窓からは懐かしい山々がみえて来て、思い出話に興じているうちに、予定より早めに会場である松本勤労者福祉センターに着きました。会場には既に県内の高校卒業の有志の方々460名が集まっています、偶然深志高出身の義弟にも会う事が出来ました。13時に講演会が始まり、笠原貞行氏の「チロルの町と信州の話」滝孝治氏の歌曲、松本市民吹奏楽団の演奏と、中身

の濃い記念式典でした。式典が盛大のうちに終わり、夜は浅間温泉「いずみ荘」150名程度が参加して、信州名産のワインに詳しい料理、お話も数々あって大変盛り上がりました。翌朝は朝食もそこそこに、旅館を後にしてバスの旅が再び始まりました。

大町の高瀬川テブコ館、高瀬溪谷沿いの三つのダムを初めて見学し、水と電気的威力と不思議さを勉強しました。昼食は岩魚郷北条屋敷で、岩魚の塩焼き等の料理がおいしかった事!、その後山奥の小川村おやきの里で熟々の野沢菜入りのおやきと舌鼓。ここでは60才以上の女性が働いていて、70才代の方々に「働いて得たお金は何に使うのですか」とインタビューしたら、「老後のために」と答えたと、バスガイドさんが話してくれました。70才代はまだ老後ではないと言うことですね。

夕映えの浅間山や、千曲川と別れをして、渋滞の始まる頃から車中でカラオケを楽しみ、夜八時過ぎ新宿に着いてこの旅は終わりました。

長野県高等学校同窓会中信地区東京連合会主催の第3回ふるさと交流同窓会が昨年11月17日、松本勤労者福祉センターで開催された。第1回が昭和48年、第2回が平成5年、そして第3回が昨年、いずれも松本の開催である。中信地区東京連合会には池田工業、木曾山林、塩尻志学館、豊科、松商学園、松本県ヶ丘、松本蟻ヶ崎、松本工業、松本松南、松本深志、南安農業の11校が加盟している。それに今回は松本美須ヶ丘の参加があった。今回の開催に当たって

第3回

ふるさと交流会に参加して

は1昨年以來、各校幹事百名余りの20回に及ぶ協議連合会と周到な準備が行われた。出席者は中信地区11校からは東京(バス3台、電車、車)、地元合わせて約400名、信南、北信、東信各地区東京連合会加盟校から招待者、地元議員、市長村長、学校長の来賓など総勢460余名という盛会であった。我が県からは40名が出席した。第1部は県教育委員長笠原貞行氏の「チロルの町と信州の話」、次にテノール歌手滝孝治氏によるカンツォーネと歌曲の独唱、統一

て松本市民吹奏団(中信地区高校のOB、OG)による演奏。第2部式典は大会役員、地元同窓会代表挨拶、来賓紹介、祝辞、参加校の紹介など。第3部は懇親宴会。「信濃の国」の合唱に始まり最初は各校毎のテブコ館に着いてスタートしたが、すぐに学校の枠を超えて会場全体が交歓、親睦の雰囲気となった。これこそがこの催しの最大の目的であり意義だと実感した。全く時の経つのを忘れての3時間半、それぞれが名残を惜しみながら散会となった。

江森 史武 (高11回卒)

「ふるさと」という言葉の響きは、故郷を離れて暮らす人にとつては、いくつになっても懐かしく、温かく優しく迎えてくれるふるさとを持つている幸せを感じるのである。同期会でも東京の連中は離れがよいなど、地元の仲間を声を聞きけれど、皆想いが同じだからだろう。また来賓からはあまり間隔を開けないで開催して欲しいとの言葉があったが、今回の交流同窓会の充実した内容を評価しての賛辞だったと思う。

その日の夜は浅間温泉での宿泊懇親会、参加143名、和気藹々の2時間半であった。翌18日は大町高瀬川テブコ館、高瀬溪谷、高瀬ダム、新高瀬川発電所を見学したが、いつも自由に見学を許されていない所ということもあって、皆感動したようである。その後岩魚郷北条屋敷・お焼きの里、小川村に寄り、更埴インター経由で帰路についた。東京同窓会の会員にとって今回の交流同窓会を通じて、相互の絆が一層深まったことは言うまでもないが、地元から参加した多くの人達から、素晴らしい同窓会であったと言って貰えたことは、何よりも嬉しかったと思う。そして今後この交流の輪が更に広がることを望みたい。

おわりに中信地区東京同窓会の宣言文を紹介いたします。私たちは、ふるさと長野県の美しい自然と長い歴史のもとに生まれ、鋭い感覚と英知、誠実と純粋性を培ってきました。そして、それぞれの名誉と伝統に輝く出身校の同窓会に属し、同じ関東地区に住む同窓生たちが互いに励まし合って親交を結び、その実を上げてまいりました。21世紀を迎え、新たに私たち長野県高等学校同窓会中信地区東京連合会、北信、東信、南信地区東京同窓会及び各校同窓会との相互連携を密にして、大いに交流と親睦を図り、会員の人格完成のために協力し合って人類文化の向上と、社会福祉の増進に寄与することを誓います。

「愛のリレー」を迎えて

県陵24期会々長 大澤 哲

3月の末だというのに桜が咲き始め、梅や杏、何もかもが一緒になつてしまいました。暖冬続きの近年ですが、半月も早い桜は今までないことで、やはり異常気象ということなのでしょう。

我々24回生の「愛のリレー」記念事業まで一月を切り、準備の最終段階に入りました。昨年23回生の先輩から引継ぎを受け、実行委員会を立ち上げて約1年、多くの仲間の力を結集することができ、大変感謝をしているところです。

県陵を巣立つてはや30年、間もなく50歳に手が届こうかという、立派な中年の我々が、すっかり昔に戻り「愛のリレー」の計画を練る会議を繰り返すことは、大変でしたがとても楽しいひと時でした。こんな機会がなければ、昔の仲間とこんな濃密な時は決して持てなかつたであろうと、改めてこの「愛のリレー」を始められた先輩方の英知に敬意と感謝を表したいと思います。

異常気象といえ、我々県陵24回生の高校入試は40センチを超える春の大雪だったこと、1年生の県陵の創立記念日(当時は愛のリレーはありませんでしたが…)の

式典は雪の中だったことなどを思い出しました。どうも24回生には、異常な気象がついて回るのか、おまけに「愛のリレー」を未曾有の経済不況中で迎えることとなり、合わせて80周年募金にも取り組むこと、さらに、県陵の体育館が改装中で使えず、やむなく県松本文化会館(かのサイトウキネンフェスティバルの会場)での開催という、本当に異例の事態の中での「愛のリレー」となりました。

厳しい条件の中でのスタートでしたが、毎年苦勞するという記念講演のメンバーも、長野五輪後のパラリンピックの障害者アトで話題になった関孝之君、東京芸大出身の音楽家田村玄君がすんなり引き受けてくれました。この会報が皆さんのお手元に届く頃にはきっと成功裡に記念事業も終わり、無事25回生に引き継がれているものと思います。

この1年、昔の仲間との集まりは本当に貴重な時間でした。仕事の疲れも悩みも忘れるオアシスのような一時でした。心から感謝しながら、このすばらしい事業がいつまでも引き継がれて欲しいと思います。

21世紀は アート時代…かも?

関 孝之 (高24期卒)

知的障害のある人の福祉の世界に身を置いて、25年が経ってしまった。大学を出て、障害のある人のお役に立ちたいなどと、意気込んでこの世界に入ったのだが、いつも彼らの障害ゆえの「できないこと」探しをし、「頑

張れ!しっかりしろ!頑張ればいつかは社会で普通に暮せる。」などとうそぶいて、叱咤激励のことはかりやってきてしまった。でも、彼らはちっとも幸せそうではない。そうしている自分の欺瞞にうんざりしてしまった。

13年前に知的障害のある人たちのアート活動の場として「風の工房」を始めた。「自分の思うままに表現したら良い。好きなように生きたら良い。福祉で飯を食わせてもらう僕らはただそれを支えるだけ。」と自分の姿勢を180度ひっくり返したわけだが、ナント楽になれたことか。ナント彼らは生き生きしちやつたことか。ウラヤマイシほどの自由な表現をし、ステキなアートを生み出す。「障害」のマイナス面ばかり追っかけていたときには見えていなかった彼らのスゴサを見ました。アートする彼らを見てみると、「アート(芸術)」って一体なんだろう、「障害」ってなんだろう、と考えてしまふ。

子供の頃、鉄腕アトムをみながら、21世紀は明るい未来だったはず。でも、実際に21世紀がやってきても、この国は、この地球は暗く、閉塞感に満ちている。簡単に人が殺され、傷つけ合い、憎しみがあふれ…。

日々、仕事に終われ、くたくたになり、将来に不安を抱いたりする人たちが、仲間達のアート作品に触れ、心穏やかになり、癒されている。元気をもらっている。作品たちは「もう一度立ち止まって、何が本当に豊かなのだろうか。」と語りかけてくる。

松本市長 **有賀 正**
(高24期卒)

松本市役所 〒390-8620 長野県松本市丸の内3-7
☎0263-34-3000(代)
Eメール: tegami@city.matsumoto.nagano.jp
自宅 〒390-0825 長野県松本市並柳1-2-10
☎0263-25-4848(代)

Pearl-Colored Stone-Diamond

T
TSUKAHARA
JEWELRY

塚原ジュエリー
塚原 哲夫 (高18回卒)

南洋珠・色石・ダイヤモンド輸入・卸
〒110-0016 東京都台東区台東 2-29-9 シャノン2F
TEL/FAX: 03-3837-9758 携帯: 090-3234-6187



第7回 海外語学研修報告

県ヶ丘高校 英語科 塩野 敏彦

● 実に感じます。そんな中、我が
★ 「縣陵」が、既に世界とコミュニ
● ケートして行く、登竜門たる英
★ 語の重要性をいち早く認知さ
● れ、その英語を馳駆し、自分の
★ 意見をはっきりと述べ、国際社
● 会に出て行く為に必要な、弁
★ 論(ディーバート)能力を育成し
● ていること知り、非常に嬉しく
★ 思いました。縣陵初代校長の
● 小松先生は、イギリスのボー
★ イングスクールをモデルに、皆に
● いち早くサッカー靴を履かせ、
★ サッカーを奨励し、文武両道の
● 重要性を説いたと昔聞いたこ
★ とがあります。「縣陵」が、こ
● れからも、世界に通ずる次世
★ 代の若者教育の先駆者として、
● 「弱音を吐かない強い意思」
★ を持った、世界の「大道を質実
● 剛健に闊歩」する、国際的指
★ 導者育成に益々頑張ってください
● こと、ニューヨークより祈って
★ おります。

● 今年度の海外語学研修は3月23日(土)～30日(土)にオーストラリアで実施しました。英国での訪問校の受け入れ体制も整っていた段階でテロのため急遽目的地を変更せざるをえませんでした。オーストラリアでは予想以上の歓迎を受け、生徒たちは生涯忘れることのない素晴らしい体験ができました。「支援する会」をはじめ、多くの同窓生の皆様のご協力をここに感謝いたします。

● 今回の研修では、現地生徒の家にホームステイをし、一緒に学校へ通い、一緒に授業に参加することを主眼とし、オーストラリア南西部パースより車で1時間ほどのTranby Collegeを訪問しました。Collegeといっても幼稚園から高校生まで各学年1クラスの小さなキリスト教系の学校です。午前中は英会話の授業、午後は4人ずつのグループに分かれて各学年の授業に参加しました。先生役になって日本語や折り紙などを低学年の児童に教えたりもしました。全校水泳大会の応援や、イースターのミサに参加したことも貴重な体験でした。暖かく親切なもてなしを受け、生徒たちも熱心に学んだことから現地校の校長先生からもお褒めの言葉をいただき、来年もぜひと言われ感激して帰国しました。普通科4名、英語科32名の参加者の中からひとりの生徒のコメントを紹介します。

● 私にとってこの8日間の旅行は本当に貴重な体験となりました。本当にたくさんの人と出会いました。ホストファミリーをはじめ、Tranby Collegeの先生や生徒たち、一緒にバスで通った人や、近所に住む女の子たちなどここに書ききれないほどの人たちに会い、いろいろなことを教えあい、たくさん思い出ができました。出会った人すべてが本当にいい人ばかりで、バスに来て本当に良かったと思いました。外国語を学びたいという気持ちがあります強くなりました。「世界は広い」ということを実感しました。将来役立つことがたくさんあったと思います。一生忘れられない、すばらしい、勉強になる旅でした。

データ管理・インターネット
御社のIT革命のご相談は



有限会社エムアンドエム
代表取締役 村越 政雄(高21回卒)

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15
室岡ビル2F
☎0422-23-7901 ☎0422-21-7966



ネット化されたポスティングシステムで新しい価値を提供するピー・アイ・エヌ

株式会社 **ポストインネットワーク**

敏速・丁寧・格安!DM、郵便の発送代行は当社におまかせ下さい。

代表取締役 **村越 政雄**(高21回卒)

本社
〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-10-15
室岡ビル2F
☎0422-23-7620 ☎0422-23-7630

練馬センター
〒180-0004 東京都練馬区谷原4-20-40
増田倉庫口棟
☎03-3904-8418 ☎03-3904-4050



有限会社 **小松清路建築研究所**
Co.,Ltd SEIJI KOMATSU ARCHITECT & ASSOCIATES
代表取締役 小松清路(高23回卒)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-12-6-1005 TEL.03-3343-5936 FAX.03-3343-4926
1005-6-12-6 Nishishinjyuku Shinjyuku-ku, Tokyo e-mail:A.S.komatsu.A@oak.zero.ad.jp

温泉旅館
妙鋏

奥原 達幸(高24回卒)

上高地乗鞍高原の玄関口
松本電鉄新島々バスターミナル前
滞在型レジャー拠点として最適な旅館です
TEL.0263-92-2036 FAX.0263-92-5754

暖炉の煙突が、樋に落ち葉が詰まった
屋根・樋等で困った時にはお電話下さい。



建築屋根板金工事一式請負

有限会社 **堀地板金工業所**

常務取締役 **堀地利治**(高24回卒)

〒390-0834 長野県松本市高宮12-3
TEL.0263-25-3358 FAX.0263-27-0487

国連英検特A級合格
実用英検1級合格
通訳案内業国家試験合格
(財)原子力安全研究協会嘱託翻訳者
日本翻訳連盟会員

英和・和英翻訳

勝野憲昭(高12回卒)

〒362-0053 埼玉県上尾市戸崎1-101
☎(048) 781-9131
E-メール nrkatsuno@jcom.home.ne.jp

ニューヨークから特別寄稿

"I'm from Japan"

齋藤了(高校25回卒)

私は、安曇野の堀金出身で縣陵25期生の齋藤了という者です。縣陵時代のことが急に懐かしくなり、中学からの学友、高橋知章君に連絡を致しましたところ、「縣陵東京同窓会」の存在を教えられ、現在在住しているニューヨークと東京が姉妹都市であることを良いことに、以来、濱一昌氏、荒木仁氏にすっかりお世話になり、今では勝手ながら「縣陵東京同窓会」の一員になったつもりであります。そんな訳で、何か皆様にご恩返しをと思っておりましたところ、私のニューヨークでの体験談が良いのではとのご意見を頂き、こうして拙いながらも寄稿させて頂いております。

早いもので、渡米してから28年の歳月が過ぎようとしております。アメリカで大学を卒業し、社会人としての第1歩を踏み出し、結婚も致しましたので、縣陵卒業後の人生の大半を、ここニューヨークで過ごしたことになります。

我が家の家族構成は、我々夫婦と、男の子2人、女の子1人の5人です。妻はイタリア人、子供3人は、日本、イタリア(ECパスポート)、アメリカの3重国籍を持つアメリカ人ですので、アメリカの縮図といえましょうか、何か一つ屋根の下に世界が同居している



ようです。文化、慣習、宗教の背景が全くと言って良いほど違った夫婦と一緒に生活していますので、生活のいたる所に考え方の違いが歴然と現れ、お互いに意見のぶつかり合いで、理解に苦しむことも、今までままありました。しかし、子供達はそんなイタリア人の母と、日本人の父に、何の抵抗もなく接しています。色々な壁にぶつかりながら国際人になろうと努力している親よりは、一次元上の世界人に生まれながらに育っているようです。特に昨年9月11日にニューヨークで起きた、世界貿易センターテロ事件以来、将来の世界を暗雲で包むようなシナリオの、暗いニュースが多い中、人種、宗教の壁を破って生まれてきた子供達が、仲良く協調しながら生活できる世界が早くきてくれることを祈らざるを得ません。

科学技術が益々発達し、時間と空間の距離が日増しに縮小しております。Super Sonic Airplaneで、ニューヨークと東京を2~3時間で結ぶ直行便の出現も、今や時間の問題です。インターネット、サテライト電話の出現で、何処からでも世界と瞬時に、コミュニケーション出来る時代が既に到来しております。人間が何処までも便利さ、快適さを求め続ける限り、科学は発展し続けますし、それが経済発展へと直結してゆきますので、もうこの時代の流れを変えるわけにはゆきません。

このような新時代へ向かう力が、今まで以上に外的に世界を一つにしようとしております。大きさに聞こえるかも知れませんが、人類の将来に残された道は、時代遅れのアイデンティティーや過去の価値観にしがみつきのながら、必死にその流れに逆行しようとする道でなく、前向きに新時代の到来を受け入れ、古い価値観の束縛から脱皮し、共存共栄協調の道をのみかと思われま。脱皮にはかなりの生みの苦しみが伴うのですが、其処に新しく生まれた生命の躍動が、生みの苦しみを忘れさせてくれると信じ、前進するしかないと思われま。

世界の紛争の火種と言われて久しい、イスラエルとパレスチナの中東問題も、旧約時代の、アブラハムを父に持つ、異母兄弟のイサクとイシマエルの子孫の抗争が発端で、それが時代と共にユダヤ教とイスラム教との宗教闘争に発展し、現在では領土問題のみでなく、石油の利害も複雑に絡んで、キリスト教国アメリカが喧嘩の仲裁を余儀なくされ、この中東問題がへたをすると世界規模の宗教戦争に発展する可能性さえ出てきております。このまま、イスラエルとパレスチナが、過去の恨みを乗り越えることが出来ず、時代の流れに逆流しようとするればする程、彼らの存在をも時代は許さないかも知れません。

私が、日本で生活していた時は、「日本人」が社会構成の共通分母ですから、特に「日本人」であることを意識して生活したことはありませんでした。しかしながら、ニューヨークのケネディー空港に最初に降り立ち、「Where are you from?」と聞かれ、「I'm from Japan」と答えた時、私のアイデンティティーは、長野県安曇野の堀金村出身から、「日本人」に飛躍していたのです。こうして、「ああ、自分は日本人なんだ。」と当たり前のことを、改めて自覚するところからアメリカでの歩みが始まりました。

アメリカは、慣習文化が全く違う民族が移民して出来た国ですので、人種のメルティングポットと言っても、むしろモザイクに近く、完全に溶け合った融合体ではありません。アメリカは、人種間の問題を始め、まだまだ真の国際社会を形成するまでには、乗り越えてゆかなくてはならない課題を幾つも抱えております。この多民族、多人種、からなるモザイクを公平繋ぎ合わせようとするのが、法の役目ですので、自分の利権を擁護する為に必ずと言って良いくらい、自分を法の前で代表してくれる弁護士が必要になってきます。何が正しく、何が間違っているかは、全て法に照らし合わせて判断されますので、はっきりと自分の意見が主張出来、自分の立場の正当性を説明出来ないと、アメリカでは、まだ自我が確立していない、独立出来ていない幼い人間と見なされてしまいます。すなわち、この国では、沈黙は金ではなく、むしろ雄弁が金なのです。

こんな訳で、アメリカの教育は、既に分り切ったことを、丁寧に纏め上げる習得能力に長けた退屈な学生を育成するのではなく、この複雑なモザイク社会を引っ張って行くのに必要な、オリジナリティーのある考えを持った、説得力のある将来のリーダーを発掘育成する事に主眼を置いております。

最近、縣陵のWeb Sightを見て、英語科が出来て久しい事を知りました。英語の弁論大会でも決勝に進出したようです。インターネットのWeb Sightの80%以上が英語サイトですので、加速度的に英語が世界共通言語になってきております。私も仕事の関係上、世界いたる所に旅行することが御座いますが、日本語と英語しか話せないで、英語圏以外の国へ行くには、とかく不安が伴います。しかしながら、旅してみますと、何処でも英語が通じ、今まで言葉で苦勞したことは殆どありませんでした。

今では、自宅の目の前のコンピューターまで、世界がやってきており、そこをノック(クリック)すれば、世界と瞬時にコミュニケーション出来るところまで、外的環境が揃っています。コンピューター時代の幕開けと共に育ったアメリカの子供達は、英語がインターネットの共通語を良いことに、世界に既に飛び出して、世界中の子供達とコミュニケーションしながら、国際感覚を自然に身につけています。日本の子供達もそれが出来たらどんなに素晴らしいことかと思えば、思う程、英語教育の重要性を感じざるを得ません。海外におりますと、加速度的に世界が一つに近づいてゆくのを、肌で感じますので、もはや次世代の生きた英語教育は無視できないと切



Kenryoh Ladies

今年の行事は？

県陵レディース代表
久保田昇子(高18回卒)

毎年秋に行なわれている「県陵レディース」の行事は、参加者がまだまだ多くはないのですが、「参加して良かった」「楽しかった」等の声をいただき、少しずつファンを広げつつあります。

私たちはこの「来てよかった。」「また参加します。」という声は何よりの励みになり、また来年は何をしようかと考えます。

毎年ボランティアの気持ちで年3~4回の会議と資料の準備をして「県陵レディース」の行事に臨むのです。「どんな事でしたら、大勢参加してもらえたらどうか。どんなふうにしたら、参加した人に楽しんでもらえたらどうか。何人参加してもらえれば、予算的に赤字を出さずにすむだろうか。」等々、毎回頭と心を悩ませながら一回一回手探りで進んでいる状態です。スタッフ達も、最初は、運悪く私に任せられてしまひ、ひきずり込まれたような状態で手伝って来ていましたが、今では、忙しい合間をぬってみんな自分のできる範囲で能力を発揮してくれています。このメンバー達が実にいいメンバーで、個性があつて楽しいです。

さて今年の計画はすごいです。今年には二度とできない特別な企画を考えました。県陵の17期卒業の柳沢さんが、現在群馬県にある自衛隊の旅団長をしていらつしやるので、柳沢さんのご協力で自衛隊のヘリコプターに乗せていただけることになりました。さらにレインジャー部隊の方にも、日常生活の中で私たちが知っている便利ないろいろを教えてくださいたいことになりました。雑誌などを処分する時、ヒモで縛りますが、ゆるくなつて運ぶ途中で困った事ありませんか？ちよつとの工夫でしつかり結べます。これはほんの一例で、きつと来て良かったと思つて

県陵レディース バス旅行に参加して

県陵を卒業し松本を離れること早30年、千葉に居を構えその間同級会にも同窓会にも出たことが無く、級友の顔も県陵の名前さえも忘却の彼方になりました。そんな私がひょんなことから声をかけていただき、平成13年9月23日日帰り旅行に参加させていただくことになったのです。これもまた何10年かぶりの同級生をさそつていざ集合場所へ。はてこれレディース？40歳から70歳まで総勢28名、そしてなんと半数近く13名は殿方です。私は若手の方かなんてちよつと良い気分になりながらの

いただける旅になると思っています。

また今回は日帰り一泊の2コースに分け、伊香保温泉で泊まつて観光も楽しめるようにしました。11月9日と10日に行います。乞うご期待！大勢の方々の参加をお待ちしています。



山本 幸子(高23回卒)

出発です。なにしろ勤め先でも地域社会の中でもいつも年輪を重ねた分別ある言動を要求されるのですから。でもバスの中は別世界です。昔にタイムスリップレ駄菓子を食べながら校歌を歌い応援歌を口ずさみ県陵に思いを馳せるのです。
行き先は久保田一竹記念館・与勇輝ミュージアム・富士国際花園です。豪華絢爛な花にため息をつき、生活感のあるお人形が見られる与勇輝ワールドを満喫し、ニングルの森の妖精たちの眼差しにちよつと考えさせられ、花園では様々なベコニアの

今ご利用のホスティングサービスと比べて下さい...

Ace Net 安定したサーバ環境と余裕のスペック。
ゆとりあるホスティングサービスをご提供します。

詳しくはホームページを <http://www.arcplanet.co.jp>
株式会社アーク・プラネット 高嶋 知由(高25回卒)
本店:市川市 パンクーパーオフィス:カナダBC州バーナビー市

健康ですか？
悩んだり あきらめる前に

松本 整体

〒168-0082 東京都杉並区久我山5-8-17(京王井の頭線久我山駅前)
☎03(3332)5725(予約制)
院長 久保田昇子(高18回卒)

三村 小児科
内科・小児科

院長 三村 明朗(高24回卒)

〒156-0053 東京都世田谷区桜 3-21-11
☎03-3425-8231 ☎03-3425-8704

株式会社 **タイガー**
タイガー印スポーツ用品

代表取締役 奥原 輝男
(高15回卒)

〒113-0034 東京都文京区湯島3-16-13
トーキョーユニオンビル501号
TEL. (03)5812-0733



Kenryph Ladies

他に可愛いフクロウやミミズクも見られ等々、全てに堪能できました。お昼は富山から移築したという合掌造りの御食事処での炬燵焼。アルゴールも入ったこともあって、今日始めてあつたはずの方々とも旧知の如く松本言葉でワイワイ、ローカルもやま話です。もつと若い方が参加してくだされば最近の県陵

県陵レディース 秋の旅

安藤 久美子(高22回卒)

事情もわかるのにも思いました。なにしろプールを自分たちで掘ったとか、とんでもない頃の話が次から次へと飛び出してくるのですから。でも子育ても一段落し時間にも余裕ができた今だからこそ参加できたのかなとも思います。余韻を感じつつ若返って帰路について一日でした。

修学旅行のなかった私たちは、みんなワイワイ騒ぎながら旅をしたかったという願いを、卒業後何十年(?)か経った平成13年9月29日に実現させました。今回の旅の目的地は河口湖。いつでも行かれる距離だからこそあまり行かない観光地、そして美術館めぐりを、計画しました。朝7時、新宿から念願の貸切バスに乗り込み、一路最初の目的地、久保田一竹美術館へ。参加者28名、楽しい旅が始まりました。車内では、恒例の自己紹介が始まり、第3期卒から31期までの面々の短いあり長いのありのお話、昔を、懐かしく思い出してのひと時でした。少々アルゴールと、遠足のようなお菓子一袋で盛り上がりつつあるうちに、一竹美術館へ到着すると、さすがは、感覚の優れた県陵生、四季折々の景色や宇宙を、80連作で表現しよう



とする一竹の、芸術の世界の虜になってしまいました。しかもそれを、着物の図柄で、表現するという考えられない作品に一竹の偉大さを感じざるを得ませんでした。すっかり魅了された私たちは、今度は、可愛いけれど物悲しい与 勇輝の人形館を訪れました。

こども、一竹同様一つの物語によって館全体が構成されていました。彼の人形には、哀愁がありなんとも心がせつなくなりまます。——このせつないという松本の方言がびったりだと思えました。人形館の外は、富士山がくっきり、と言いたいのですが、あいにくの曇り空で、

後日いただいた集合写真には紛れもなく今の私が微笑んでおりました。



久保田一竹美術館にて

まったく姿は見えませんでした。見えぬ富士山をバックにそれぞれ記念撮影に走り回っていました。少々遠回りをして、この後は、富士国際花園へ。巨大な温室の中は花とフクロウの楽園。花はペコニアとフクシア。いまだにそのときに買って帰ったフクシアアがきれいに咲いていると、参加した先輩からお聞きしました。帰りのバスはカラオケとおしゃべり、そしておやすタイム。いつたい今日のなんの夢をみているのでしょうか?初めて逢った同窓生、年齢の開きが何10歳とあっても、みんなが打ち解け、子供に返っての楽しい1日でした。またこんな旅がしてみたい、と言ってくださった先輩の一言が、とても暖かく心に残りました。

株式会社日本ビルワーク
 常務取締役 三澤 政興 (高18回卒)
 Saving Your Property and Life.
 (土地・建物管理、リフォーム、不動産仲介)
 不動産コンサルティング
 ファイナンシャルプランニング
 〒112-0004 東京都文京区後楽2-7-5
 系平飯田橋ビル4階
 ☎03(5684)9977 ☎03(5684)9493

医療法人社団 梓 会
古畑歯科医院
 理事長 古畑 升(高22回卒)
 〒107-0052
 東京都港区赤坂6-15-1 ミツフビル2F
 ☎03-3587-1823

- 一般歯科
- 口腔外科
- インプラント
- 審美歯科

飯沼税務会計事務所
 税理士 飯沼 英男(高19回卒)
 〒162-0825 東京都新宿区神楽坂6-66
 三上ビル 5F
 TEL.03-3269-8249 FAX.03-3269-8289

人事・総務の“業務改善”支援
株式会社 ビジネスネットコーポレーション
 代表取締役 降旗 真寿幸(高22回卒)
 濱 一昌(高8回卒) 竹野入 俊木(高25回卒) 寺島 公二(高34回卒)
 http://www.busnet.co.jp TEL : 03-5444-3066



ふるさと交流会同窓会 (信州探索)



荒木 仁
(高23回卒)

昨年11月17日 2001年も後一ヶ月半、世の中も年末に向かつてせわしくなろうとしている頃、松本勤労者福祉センターにて開催されたふるさと交流同窓会に参加させていただきました。

今回は県陵が担当幹事とゆうことでしたので少しもお手伝いできればと出席させていただきました。会に於いてのお手伝いはあまり出来ませんでした。私としては各高校の諸先輩方の元氣な姿を拝見させて頂けた事と共に同窓会翌日の旅行会で信州の観光をする事が出来思いかげずいい時を過ごしました。

その日の宿泊は浅間温泉、翌日の観光は高瀬渓谷の紅葉と高瀬ダム見学、岩魚の里北条屋敷での昼食、小川の庄お焼きの村、信州ならではの景色と名物を味わせていただきました。車窓から見える信州の景色は素晴らしい、このように雄大で美しい地が故郷であることを誇りに思い望郷の念を感じるのには年を重ねたせいでしょうか。高校を卒業後 東京に居を構え31年、こちらでの生活が最も長く

なり。身体にすっきり東京時間が染み込んだように感じます、たまには松本行きあずさに乗り信州時

『社長』と『先生』

百瀬 武利 (高30回卒)

繁華街の客引きが、呼び掛けに使う単語は、二つしかありません。「社長」と「先生」です。サラリーマンは「社長」、それ以外は「先生」。

世の中の人達は、基本的にこの二つを指します。ただ、この二つは目指すものが違います。「社長」は世の中の人に喜んでもらう事。「先生」は、世の中の人の役に立つ事。



私が税務署に勤めていて、時々調査先で使われたのは「先生」です。間違ったのではないでしょう。税務の教化指導が仕事ですから。今も、油絵の個展会場では、「先生」と呼ばれています。一般的には、間違いではありません。日本の絵描きは、弟子に教えて食べて行くのが本道だと思えます。売絵は描かない主義です、という人がほとんどです。世の中の人もそれに拍手を送っていました。そのくせ、美大以外の学校で教えている人達を、落ちこぼれのように考えている節があります。結局、同じ事をしているのに。でも、私が行っているのは「先生」ではありません。絵は、教えません。絵を売り、絵を買ってもらった人に、喜んでもらって糊口を凌いでいます。だから私は「社長」と呼ばれるのが正しいのです。百貨店の個展会場では絶対そう呼ばれません。

間に戻るのも良いかもしれませんが今回のふるさと同窓交流会と旅行に参加された各校の方々もきつとふるさと時間を満喫されたでしょう。これを機になるべく時間を作って。じっくりとふるさとを見て回るのもいいかも。

私は、日々、百瀬太虚というブランドを確立すべく精進しています。その発表の場所が個展会場です。今年は1回目の個展から10周年となります。そして、65回目の個展を行います。

期間：平成14年6月16日～22日
正午～午後7時
場所：ギャラリートップラス
中央区日本橋室町2-3-7
みうらビルB1F
作家在廊：平日5時～
土日 5時～
ご来場ご高覧、お待ちしております。

鳥羽クリニック

内科・胃腸科・肛門科

院長 鳥羽 昌仁 (高22回卒)

〒157-0066
東京都世田谷区成城6-6-9 成城サウスビル2F
TEL 03-5490-9351(代)

宮沢リショウ個展(高9回卒)

赤い松街並み

ベルギー ルクセンブルグ
ベルギー観光局主催「ベルギーウォッチング2002」関連イベント

2002 5.26(日)～6.1(土)
AM11:00～PM7:00
(初日のみ PM1:00～)

東京交通会館 シルバ・サロンA(JR有楽町駅前)
作家住所: 国分寺市本多2-8-36
www.07.u-page.so-net.ne.jp/bj8/risho/




画 家

百瀬 太虚

本名 武利
(高30回卒)

〒332-0031 埼玉県川口市青木5-9-1-101
TEL 048-255-0719

KENRYO HOUSE

Jターンから産まれた縣陵の絆

立澤 文啓 (高23回卒)



思い起こせば30年以上前、私はアルプスの山々の綺麗な自然溢れる松本盆地を離れ、ネオン輝く花の都東京に出てきました。確かに東京は呑む・打つ・買うには良いところではあります。人が生活するにはどうかとかがね考えています。そんなこんなとしていく内に月日だけが勝手に過ぎていきました。子供も大きくなり、しがない借家(公務員宿舎)住まいも退職と共に出ていかなければならない。さてどうしたものかと考え初めてあれこれと老後も考え

て物色をし始めたのが数年前、地価は下落傾向だと巷では言っているがそんなに世の中甘いものではないかもしれませんが。(家族5人がそれなりに生活をしようとする家となれば)

自分の力量(資金)に見合う家となると花の東京からはかなり離れなければならぬことを悟りました。そこで一念発起し、女房と相談し、退職後に住む家として考えることとしました。そうすれば、自然があり、空気が美味く、家庭

菜園くらいは出来る土地もあるところが良いと言ふことになりました。「別荘暮」「田舎暮」「カントリライフ」という雑誌をあさり検討に入りました。候補は、那須、軽井沢、八ヶ岳等々です。那須は東北方面で一寸ダサイ。軽井沢はあくまで避暑地で夏のシーズンが終わると共に店じまい。そこで八ヶ岳山麓に白羽の矢が。松本にも近く、自然環境も良く、永住者が急増しているという情報を得て2年前より物件探しに向向。幾つかの不動産屋に行き延べにして30~40の物件を見る。そんな中で写真にあるような家を建てるための物件に出逢うわけです。

土地が決まれば当然上物をどうするかということになります。ハウスメーカーに設計プランを出してもらおうとおよそイメージとはかけ離れたモノが出てきました。そこで、当時同窓会の実行委員として一緒に頑張っていた建築士の小松君(23回卒)に相談を持ちかけました。自分のイメージを伝え、思いつく我が儘は全てぶつけて設計をしてもらおう契約をしました。案の定設計図はかなり納得のいくものでした。それでは施工業者を決めようと言ふ話になり、見積もりを見てビックリ、どの業者も予定資金の倍の提示です。これ以降は小松先生の大奮闘になりました。(多少の費用削減では到底及びません。)そこに現れたのが我が縣陵の大先輩、大蔵木工社長、大蔵治さん(17回卒)。同期の井上裕美子(旧姓・大蔵)の「お兄ちゃん、タツの力になってあげて」の一言

により、また一人力強い味方が増えました。(しかし、倍近い費用を減らすのですから並大抵の努力ではありませんでした。)何度かの設計変更の末、ようやく施工の運びとなりました。となれば、まずは地鎮祭ということに。たまたまオヤジの知り合いのその神主さんが、なんと11回卒の福澤さんでした。

八ヶ岳山麓は当然寒冷地です。寒さ対策でサッシはペアガラスということになります。そのサッシを収めたのがまたまた縣陵のOBの飯田さん(20回卒)。そのサッシは南からの日差しを十分に取り入れるために大きな窓が併せて12枚、当然カーテンが必要になり、その担当は同期のインテリアA R A K I の荒木君(23回卒)にお願いしました。床暖房の担当は高梨君(23回卒)でした。いろいろな方の協力で漸く出来上がりました。かくの如く、縣陵のみなさんが多方面で活躍している事実を目の当たりにし、我が縣陵の素晴らしさと、絆の重要さを痛感することとなりました。

協力していただいた皆さま、有り難うございました。しかし、まだ家の周りは手を入れなければならぬところがかかりあります。これからも引き続き協力をお願いします。いづれはJターンして山梨県大泉村の住民になりますが、その時は松本と東京の間です。で、両方の会員として余生を送ろうと思います。最後になりましたが、縣陵東京同窓会が益々発展するよう祈念し、私も一会員として微力ながら協力いたします。

いろいろな乗り物で天下の箱根を気ままに回遊!

箱根フリーパス

箱根登山電車・箱根登山バス・ケーブルカー
箱根観光船・箱根ロープウェイ・小田急高速バス

箱根登山鉄道株式会社

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1丁目5番3号 電話0465-24-2111

取締役社長 平沢 和久 (高9回 昭和32年卒)

歯科・矯正歯科

金井 歯科 医院

金井 秀樹 (高23回卒)

小金井市緑町 5-21-22-102号
TEL.042-384-5235 FAX.042-301-6011

Be Factory

ビー ファクトリー

彫刻家
中村 茂幸 (高27回)

アトリエ
〒123-0824 東京都足立区鹿浜1-13-19
☎03-3857-8155 ☎03-3857-8795
E-MAIL be-fa@onyx.dti.ne.jp
http://www.onyx.dti.ne.jp/be-fa/

TELLY'S OFFICE

fine illustrations

http://www.iris.dti.ne.jp/~telly

イラストレーションスタジオ テリーズオフィス
代表 佐原 雅夫 (高校23回卒)

〒154-0024 東京都世田谷区三軒茶屋1-41-14 雑野ビル402
電話 03-3418-8444 Email: telly@iris.dti.ne.jp

インテリア商品総合卸

株式会社 東信商会

青柳 善久 (高20回卒)

本 社
〒143-0025 東京都大田区南馬込3丁目22番2号
☎(03)3777-1045 ☎(03)3777-1046



●**縣陵東京同窓会アルペン会ゴルフコンペ報告**●

○第46回 平成13年10月16日(木) 武蔵富士カントリークラブ

参加者 52名(ゲスト1名) 天候 小雨
 優勝 中町 正幸(高8回卒) グロス90 ネット72.0
 準優勝 小林 秋男(高13回卒) グロス86 ネット72.8
 B・G 増沢 昇(高14回卒) グロス81

○第47回 平成14年4月11日(木) 越生ゴルフ倶楽部

参加者 36名(ゲスト1名) 天候 曇・晴
 優勝 松尾静二郎(高9回卒) グロス98 ネット70.4
 準優勝 田嶋 幸男(中21回卒) グロス101 ネット71.0
 B・G 田口 丈彦(高17回卒) グロス79

○新アルペン会会長 野村 和夫氏(中学16回)

塚原豊喜アルペン会会長は今回ご本人のご都合により退任されました。

永年に渡り有難う御座いました。尚、アルペン会にはご参加いただく予定です。

参加者募集

第48回アルペン会

アルペン会の開催日程は下記の通りです。

エントリー希望者は下記へ連絡下さい。

○開催日/平成14年10月17日(木)

○ゴルフ場/奥武蔵カントリークラブ

申込先/濱 一昌(高8回卒)

FAX・電話:042-945-6555

E-mail:tokorohama@aol.com

●**終身会費・年会費**

単位:円

	件数	終身会費	件数	年会費	手数料	年会費差額
平成11年度	29	580,000	58	130,500	2,560	127,940
平成12年度	97	1,940,000	255	547,000	28,710	518,290
平成13年度	62	1,240,000	210	439,000	20,900	418,100
計	188	3,760,000	523	1,116,500	52,170	1,064,330

●**年度別・終身会費・年会費納入状況**

卒回	平成11年		平成12年		平成13年	
	終身	年度	終身	年度	終身	年度
中学 1				2		1
中学 2						
中学 3						
中学 4						
中学 5						
中学 6						1
中学 7			1	2		
中学 8						1
中学 9				1		1
中学 10			1	3		2
中学 11						
中学 12	1					1
中学 13				1	1	
中学 14				4		2
中学 15	1	2	1	3		2
中学 16				4		3
中学 17				3		1
中学 18	1	4	1	12	1	9
中学 19	1		1			
中学 20			2			
中学 21			1	3		5
中学 22						
高校 1		1	2	2	1	1
高校 2	1	1	3	10	3	8
高校 3	1	3	5	17	4	14
高校 4	1	4	3	19	2	12
高校 5	1	2	2	12	1	13
高校 6	1	2	4	11	3	6
高校 7	1	1	4	14	3	13
高校 8	2	3	6	9	2	7
高校 9	1	3	8	12	4	9
高校 10	2	4	7	12		8
高校 11		4	2	19	5	20
高校 12	4	1	3	7	3	6
高校 13	3	3	3	16	3	13
高校 14		2	1	7	1	6
高校 15	1		4	5	1	6
高校 16		3		1	2	8
高校 17	2		2	4	1	1
高校 18	2		5	3	2	5
高校 19		3	2	6	3	5
高校 20	1	4	5	6	6	4
高校 21	1	2	3	4	2	2
高校 22			4	3	1	5
高校 23	1		3	3		2
高校 24			2	2	1	
高校 25		1	1	3	1	
高校 26			1		1	1
高校 27		1	1	2		4
高校 28				3		
高校 29			1			
高校 30			1	2		1
高校 31					1	1
高校 32						1
高校 33				2	1	
高校 34		1				
高校 35			1	1		
高校 36						
高校 37						
高校 38						1
高校 39						
高校 40						
高校 44			1			
高校 50			1			
計	29	58	97	255	62	210

建築設計・監理

株式会社 青木設計事務所

一級建築士 青木 三郎(高24回卒)

〒390-0807 長野県松本市城東 2-5-7
 TEL.0263-35-4075
 FAX.0263-34-4175

政府登録ホテル 全日本シティホテル連盟会員

松本ツリーリストホテル

松本市深志 2-4-24 TEL.0263-33-9000 FAX.0263-33-6435
 ホームページ <http://www.mcci.or.jp/www/mtourist>

支配人 あがた 縣 ひで 秀 たか 享(高23回卒)



草津・温泉保養公園

- ホテル施設
- 洋室・和洋室(全室バス・トイレ付)・レストラン(和・仏・中・伊)・カフェ 他
- 温泉
- 露天風呂・温泉大浴場・西洋湯治館「テルメテル」
- リラクゼーション
- 森林浴・エステティックサロン・アカスリ・温泉整体・中国足心道(フットマッサージ)
- スポーツ
- アイアンゴルフ・バタールゴルフ・テニス・スイミング・スキー・サイクリング・ボウリング

草津・温泉保養公園中沢ヴィレッジ **ホテル ヴェルッジ** 〒377-1793 群馬県吾妻郡草津町 618
 TEL.0279-88-3232代

代表取締役 中沢 秀雄(高校3回卒)

松本県ヶ丘高校同窓会の皆様は、特別にご優待させていただきます。 首都圏予約センター(担当中沢) お気軽にお問い合わせ下さい。 **048-644-0932**



松本県ヶ丘高等学校東京同窓会 平成13年度会計報告

自平成13年4月1日至平成14年3月31日 (単位:円)

収入の部		支出の部	
適用	金額	適用	金額
前年度繰越金	130,325	総会関係支出	2,408,283
総会関係収入	2,455,000	懇親会費	1,964,319
総会会費	1,778,000	諸雑費	257,176
寄付金	299,000	実行委員会活動費	186,788
雑収入	178,000	会報発行費用	1,199,798
その他	200,000	印刷代	544,612
会報発行収入	1,026,000	通信費	474,916
広告料収入	990,000	編集会議費	47,020
寄付金	36,000	雑費	133,250
その他収入	936,790	その他支出	876,800
会費勘定繰入	549,790	幹事会議費	426,810
本部助成金	100,000	渉外費	153,660
寄付金	31,000	活動交付金	192,000
幹事会費	256,000	事務費	10,500
その他雑収入	103,430	通信費	26,060
仮払い戻し	100,000	HP作成費	60,000
名簿販売費	3,430	諸雑費	7,770
銀行利子	50	次年度繰越金	166,714
総合計	4,651,595	総合計	4,651,595

特別会計の部

1.同窓会会費特別勘定

終身会費	1,240,000円
年会費	439,000円
振込手数料(一)	20,900円
当期入金額	1,658,100円
大和銀行行徳支店普通預金残高	
前年度分との合計残高	4,178,724円
当期増加の預金利息	624円

2.特別基金勘定

大和銀行金銭信託の残高	1,520,060円
当期増加額は受取利息	1,642円
上記の通りご報告いたします。	

平成14年4月18日

会計幹事 中町 正幸 百瀬 興一

会計監査報告書

会計幹事より提出を受けた会計帳簿、領収書、伝票類をもとに慎重に監査した結果、上記会計報告は適正であると認めます。

平成14年4月18日

会計監査 川上 文男 太田 均

平成13年度次期繰越金内訳	富士銀行普通預金	166,714
	会計幹事手許現金	0
	合計	166,714

会費振込みのお願い

会則第12条に基づき平成14年度の年会費の徴収を行っています。同封しました振込用紙をご利用のうえ6月末日までにお振込下さい。併せて終身会費も受付けております。なお総会当日も受付にて年会費の徴収も行いますので併せてご利用下さい。
年会費 2,000円 終身会費 20,000円 財政委員会

平成13年度事業報告

平成13年6月9日第34回東京同窓会総会・懇親会は高校23回卒業生(小松清路委員長)を中心に虎ノ門「パストラル」にて開催、第33回に引続き土曜日に行いましたが、参加者が予想を下回り182名となりました。平成12年度に引続き会報「あがた」を案内に同封し関東近県の同窓生約3200名に送付しました。しかし案内の返信率も改善されず残念な結果となりました。この状況を踏まえ、土曜日開催日程について検討した結果、第35回は平日開催に変更することになりました。今後、会報を全員に送付する為の費用も嵩むので、会報の送付先についても検討する予定です。引続き、同窓会活性化の工夫と努力が必要であると感じております。

縣陵レディースが日帰りバスツアーを27名の参加で実施、好評であり、次年度の計画にも着手しております。同好会活動では、同窓会コンペ、アルペン会も恒例の春秋の2回開催しました。成績はホームページにも掲載しております。

昨年、ホームページをリニューアルし、アクセス件数は3月末で4,219件となっております。今後、同期会、イベント等にぜひご活用をお願いします。今年度の大きなイベントの一つ、当校が幹事として中信地区同窓連の第三回「ふるさと交流同窓

会」を11月17日～18日、松本勤労者福祉センターで460名の参加により盛会裏に開催できました。本部同窓生ならびに関東地区の同窓生の協力に感謝申し上げます。

その他、幹事会、各委員会の開催並びに本部同窓会、中信地区同窓連、県同窓連、他校同窓会への出席等懇親を深めて参りました。

現在まで把握しております関東一円の同窓生は3,264名、東京都1,354名神奈川県731名埼玉県554名千葉県465名となっております。しかし近年、女生徒の増加に加え、若い年代の関東地区の把握が困難となっており、今後いかに会員の増加を図り、いかに活性化させるかが大きな課題であります。

最後に年会費・終身会費の納入のご協力に感謝申し上げます。今後の同窓会活動に大切な財源でもあります。また、ご寄付等でご協力をいただいております皆様にも厚く御礼申し上げます。引続きよろしくご協力をお願い申し上げます。

幹事長 濱 一昌(高校8回卒)

東京同窓会のホームページを御活用下さい。

<http://plaza9.mbn.or.jp/~kenryou/>

大都会のオアシス、癒い、くつろぎ、やすらぎの「雅」
馬刺、蜂の子、おやきに舌づつみ、
ふるさと信濃を思うひとときを。

小料理 雅

杉山雅子(鎌ヶ丘高出身)

〒160-0023東京都新宿区西新宿1-15-10

エスアイビル3階

☎03-3348-6677 ☎03-3348-6670

大名町の
はんこ屋

(有) 木下製印社

専務取締役 木下 匡晃 (高35回卒)

Masateru Kinoshita

横田 尚江 (旧姓木下・高29回卒)

Naoto Yokota

URL <http://www.inshop.co.jp/>

E-mail hankoya@inshop.co.jp

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-5 TEL.(0263) 32-2665 FAX.(0263) 36-2665



校歌

『若き我等』

高野辰之 作詞

一、風が十字に荒ぶれ狂う
信濃の真中松本平

此の地に身を置き胸差し出だす
若き我等は体も強し
若き我等は心も強し

二、西に聳ゆる北アルプスに

朝日の輝き夕日のおい
ふりさけ仰ぎて光に生くる
若き我等は望みも高し
若き我等は理想も高し

三、かの犀川の流れの如く

夜昼分たず淀まず止まず
正しき方へと歩みを運ぶ
若き我等は誓いも堅し
若き我等は覚悟も堅し

四、おのが力に伸び得る時ぞ

いざいざ我友学びに励み
行手に明るき天地眺め
若き我等は務をおえん
若き我等は事なしおえん

信濃の国 昭和四十三年五月県歌制定

浅井 冽作詞 北村 季晴作曲

一、信濃の国は 十州に 境連ぬる 国にして

聳ゆる山は いや高く 流るる川は いや遠し
松本 伊那 佐久 善光寺 四つの平は 肥沃の地
海こそなけれ 物さわに 万ず足らわぬ 事ぞなき

二、四方に聳ゆる 山々は 御嶽 乗鞍 駒ヶ岳

浅間は殊に 活火山 いずれも国の 鎮めなり
流れ淀まず 行く水は 北に犀川 千曲川
南に木曾川 天竜川 これまた国の 固めなり

三、木曾の谷には 真木茂り 諏訪の湖には 魚多し

民のかせぎも 豊かにて 五穀の実らぬ 里やある
しかのみならず 桑とりて 蚕飼いの業の 打ちひらけ
細きよすがも 軽からぬ 国の命を 繋ぐなり

四、尋ねまほしき 園原や 旅のやどりの 寢覚の床

木曾の棧 かけし世も 心してゆけ 久米路橋
くる人多き 筑摩の湯 月の名に立つ 姥捨山
しるき名所と みやびをが 詩歌に詠てぞ 伝えたる

五、旭将軍 義仲も 仁科の五郎 信盛も

春台 太宰先生も 象山 佐久間先生も
皆此国の 人にして 文武の誉 たぐいなく
山と聳えて 世に仰ぎ 川と流れて 名は尽す

六、吾妻はやとし 日本武 嘆き給いし 碓氷山

うがつ隧道 二十六 夢にもこゆる 汽車の道
みち一筋に 学びなば 昔の人にや 劣るべき
古来山河の 秀でたる 国は偉人の ある習い

第35回 東京同窓会 式次第

第一部 総会

一、開会の辞

小松 清路(高23回)

二、物故者に対し黙祷

一、会長挨拶

山岸 光臣会長(高3回)

二、議事

(一) 議長団選出

(二) 会務報告 演 一昌(高8回)

(三) 会計報告 百瀬 興一(高12回)

(四) 会計監査報告太田 均(高21回)

(五) 役員改選

(六) その他

一、閉会の辞

荒木 仁(高23回)

第二部 懇親会

一、来賓ご入場

一、校歌斉唱

一、開演の辞

仁科 孝章実行委員長(高24回)

一、来賓紹介 挨拶

(恩師)

一、乾杯

一、信濃の國 斉唱

一、次回実行委員の紹介と引き継ぎ

一、中締め

一、閉会の辞
三村 明朗実行副委員長(高24回)